



SHINDOU KAITANI WORKS

甲斐谷忍の世界

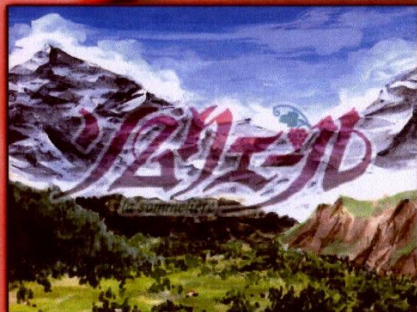


特集コーナーOPEN!!

▶FLASH MOVIE ▶QUIZ GAME



▶WORKS ▶COLUMN ▶DOWNLOAD



Flash Movie



ワインの自由

for wine lovers

本誌で語られたワインを詳しくご紹介いたします。

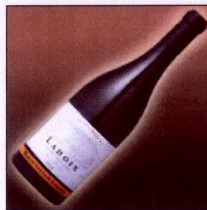
WEB COLUMN MENU

- ラドワ・ブラン・ボワド・グレション シルヴァン・ロワシェ
- アンピエール・シルバー・ブレイット・ナチュール
- グロ・ロリチエス白
- シェラー・カントマルル
- サンチャゴ・ルイス
- シェラー・ド・ゴール・カステル・赤
- マジック・シエン・バルタン・キューヴェ・マドレーヌ・コリジョン
- シェラー・ローザン・セガラ
- ドメーヌ・ド・ラ・ソル・シャード
- ヒストリカル・インティモンス・セシニエール・ワイン

ラドワ・ブラン・ボワド・グレション シルヴァン・ロワシェ

コート・ド・ニュイの南端にあるコンブランシアンは中世から大理石の石切り場として有名な村で、ロワシェ家は葡萄畑を所有するかわら、代々石材商を生業としてきた。葡萄畑はワイン生産者に貸与されてきたが、現在20代前半のシルヴァン・ロワシェの代になってからワイン生産を開始し、葡萄畑を自社で管理するようになった。自社畑がまだ充分ではないため、一部購入原料のワインも瓶詰めしている。

ラドワ・ブラン・ボワド・グレション2006年ヴィンテージは非常に興味深いワインで、荔枝(ライチー)やパッションフルーツなどのエキゾチックな香りを感じる。



完成された味わいよかったです。

細と作り手の熱意を感じたらと

味わい深く、凝縮感がある。ラドワ・セリニーやアロース・コルトン周辺では、伝統的にシャルドネの畑(ピノ・グリやアリゴテが混植されていることがあるが、ベリー・ブラザーズ&ラッド社ブルゴーニュ担当で、実際にブルゴーニュに住むジャスパー・モリスによれば、シルヴァン・ロワシェ所有のボワド・グレションの区画で植えられているのはシャルドネ100%だという。ブルゴーニュワインの世界最高権威のひとつに疑問を呈するわけではないが、にわかに信じがたいほど個性的な味わい。モリスはこれを、「畑に由来する個性」としている。

(ベリー・ブラザーズ&ラッド輸入。2006年ヴィンテージ750MLの希望小売価格は5,800円)